



## 見附市立葛巻小学校 実践報告書【学校報告用】

(1) 事業名 ※事業名称がある場合	見附市立葛巻小学校 ふるさと新潟防災教育 事業		
(2) 実践報告			
実践内容及び児童生徒の様子	全学年で新潟県防災教育プログラムを年間指導計画に位置付け、発達段階に応じた指導，継続的な指導を確実に実施した。また，自然の二面性(恵みと災い)について学習できるプログラムを実施するとともに，講師を招請し，体験談を聞くなど，人に学ぶ機会を意図的に設定した。児童は，学習を通してふるさとを見つめ，災害時の行動の仕方や家族，地域の助け合いの心が必要なことを学んでいる。		
成果と今後の課題	<p>○実体験や講師の講話が児童の心に響き，周りの人と協力しながら行動することが大切であることを児童一人一人が学んだ。</p> <p>○防災アーカイブ見学等，見附市の防災教育資源を積極的に活用し，地域に根差した防災教育プログラムを展開することができた。</p> <p>●学校保管の防災関係資料が少ないため，学習の成果物を蓄積する一方で地域に資料提供を呼びかけ，データ化する方策を検討していく。</p>		
実践の様子			
<p>【第4学年】『刈谷田川とわたしたち』の実践から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期は，刈谷田川の上流から下流まで探索し，そこに棲む生き物や自然，川と関わってきた人や生活の様子について興味を広げた。</li> <li>・8月下旬，大平森林公園でのEボート体験を実施した。NPO法人の方を講師にライフジャケットの装着方法を学び，Eボートを実際に操作することで，その利点や災害時に出動した話を聞くことができた。2学期の調査活動の意欲を喚起することができた。</li> <li>・2学期は，校外学習で見附市防災アーカイブ(9月)，関屋分水路(11月)を見学し，水害の怖さや水害を回避するために人々が努力を重ねてきたことを学んだ。</li> <li>・12月，1月には水害を体験した地域の方，東日本大震災復興ボランティアの活動をされている方を講師に招き，講話をいただいた。講話から子どもたちは，普段から災害に備えておくこと，みんなで協力すること，感謝の気持ちをもって生活すること，命の大切さを学ぶことができた。現在，1年間で学んだことをパンフレットにまとめている。</li> </ul>			
			
ライフジャケットの付け方を知る	刈谷田川の氾濫について調べる	地域の方の体験談を聞く	災害ボランティアについて学ぶ